このページは @yagipy の職務経歴を紹介するページです。 最終更新日: 2022/10/16

目次

- 基本情報
- 自己紹介
- 職務経歴
 - からくり株式会社 (2019年4月~在職中)
 - 株式会社taliki (2018年6月~2019年3月)
 - 株式会社Hatty&Co. (2018年6月~2018年10月)
- 個人の活動
 - o 登壇
 - o OSS
 - o OSS以外の個人プロジェクト
 - o コミュニティ
- 各種リンク

職務経歴

からくり株式会社 (2019年4月~在職中)

2019年4月に新卒入社しました。

テックリード(Webフロントエンド/バックエンド)、教育グループリーダー、ソフトウェアエンジニアを担当しています。

Webフロントエンド/バックエンドのテックリード (2021年4月~在職中)

Webフロントエンド/バックエンドに関する見積作成、設計(DB設計、API設計、技術選定)、ベースコードの作成、会社単位で導入事例のない技術の検証と実装を行いつつ、他メンバーのサポートをするというのがメインの業務になります。

ただ、テックリード業務のための工数が毎月あるわけではなく、必要なタイミングで(新規開発立ち上げの際や新しい技術を検証/導入する際など)工数をもらい、実際にプロジェクトに参画する形で業務を行なっています。

主な実績は開発プロジェクト一覧の利用技術や技術選定に関する思考と行動の項目に書いています。

教育グループリーダー (2020年9月~在職中)

教育グループでは、会社レベルでの教育に関する施策の立案や実行を担当しました。(メンバー数最大4名) 教育効果を定量的に測定するために、エンジニア評価制度に関しても作成しました。

施策の立案や実行の過程で、「学習する組織」や「リファクタリング・ウェットウェア」、「成人発達理論による能力の成長」という本を読み、体系的な能力開発に関する知識を得ることができました。 主に行った施策は下記になります。

- o KGI/KPIの立案・作成・運用
- o エンジニア評価制度(コンピテンシーマトリクス)の立案・作成・運用
- o エンジニアメンターシップ制度の立案・作成・実施・運用
- 研修制度のプラッシュアップ
- o テックリードによる塾形式の勉強会の立案・実施

o ライブラリ/設計比較検討会の立案・実施

開発プロジェクト一覧

抜粋しています。

リードエンジニアを担当したプロジェクトのみ、**利用技術や技術選定に関する思考と行動**という項目があります。

プロジェクトの網羅性は下記ブログ記事の方が高いですが、このページの方が各プロジェクトをより詳細に書いています。

2021年の詳細

2020年の詳細

オンライン診療アプリ

| 参画期間 | 2021/11~現在 |
|------------|--|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |
| 役割 | Webフロントエンド/バックエンドのリードエンジニア Webフロントエンド/バックエンドのプロジェクトマネジメント(メンバー数最大6名) |
| 主な使用技 術 | フロントエンド: TypeScript、React、vite、Chakra UI バックエンド: Go、gqlgen、ent インフラ: Terraform、AWS、ECS、Fargate、SNS、SES、Aurora(MySQL互換)、CloudFront、 Route53、ALB その他: GitHub Actions、GMOPayment、Twilio、OMRON connect Cloud |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務
- ▶ 利用技術や技術選定に関する思考と行動

工事現場での無傷事故報告アプリ

| 参画期間 | 2021/06~現在 |
|--------|--|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |
| 役割 | Webフロントエンド/バックエンドのリードエンジニア Webフロントエンド/バックエンドのプロジェクトマネジメント(メンバー数最大5名) |
| 主な使用技術 | フロントエンド: TypeScript、React、Next.js、Recoil、TailwindCSS バックエンド: gRPC、Go、grpc-gateway、Ruby、guard インフラ: AWS、ECS、Fargate、SNS、Aurora(MySQL互換)、CloudFront、Route53、ALB その他: GitHub Actions |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務
- ▶ 利用技術や技術選定に関する思考と行動

認証認可基盤システム

| 参画期間 | 2020/10~現在 |
|------|----------------|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |

| 役割 | Webフロントエンド/バックエンドのリードエンジニア Webフロントエンド/バックエンドのプロジェクトマネジメント(メンバー数最大2名) |
|------------|---|
| 主な使用技 術 | フロントエンド: TypeScript、React、Next.js、Recoil、TailwindCSS バックエンド: JavaScript、TypeScript、prisma、ldapjs、samba-client、sequelize、Serverless Framework インフラ: AWS、Lambda、API Gateway、EC2、RDS、RDS Proxy その他: GitHub Actions |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務
- ▶ 利用技術や技術選定に関する思考と行動

宿泊者管理サービス

| 参画期間 | 2020/6~2020/9 |
|--------|--|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |
| 役割 | Webフロントエンド/バックエンドのリードエンジニア |
| 主な使用技術 | フロントエンド: TypeScript、React、Next.js、Redux、Redux Toolkit、Redux Saga、Apollo Client バックエンド: Ruby、Ruby on Rails、graphql-ruby、capistrano インフラ: Terraform、AWS、EC2、RDS、ALB、S3、CloudFront その他: CircleCI |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務
- ▶ 利用技術や技術選定に関する思考と行動

大手ハウスメーカー顧客管理サービス

| 参画期間 | 2020/2~2020/6 |
|--------|---|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |
| 役割 | Webフロントエンド/バックエンドエンジニア |
| 主な使用技術 | フロントエンド: TypeScript、React、Create React App、Redux、react-pdf、react-table バックエンド: Ruby、Ruby on Rails、capistrano その他: GitHub Actions、CircleCI、Ansible |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務

大手メガネメーカー店舗向けサービス

| 参画期間 | 2019/6~2020/9 |
|--------|--|
| 担当工程 | 設計、実装、テスト |
| 役割 | バックエンドエンジニア Androidエンジニア |
| 主な使用技術 | Android: Java、Android、Dagger、RxJava バックエンド: Ruby、Ruby on Rails その他: GitHub Actions、Circle CI、Ansible |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務

株式会社taliki (2018年6月~2019年3月)

インターンとして参画、インフラエンジニアを担当しました。

開発プロジェクト一覧

ちあちあ

| 参画期間 | 2018/6~2019/3 |
|--------|--------------------------------------|
| 担当工程 | 実装 |
| 役割 | インフラエンジニア |
| 主な使用技術 | AWS、EC2、ALB、Route53、Nginx、PostgresQL |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務

株式会社Hatty&Co. (2018年6月~2018年10月)

1人目のエンジニアとして参画、CTOを担当しました。

開発プロジェクト一覧

Camel

| 参画期間 | 2018/6~2018/10 |
|--------|--|
| 担当工程 | 要件定義、設計、実装、テスト |
| 役割 | エンジニア |
| 主な使用技術 | Ruby、Ruby on Rails、AWS、EC2、ALB、RDS、Route53、Nginx、MySQL |

- ▶ プロジェクト概要と担当領域
- ▶ 主な担当業務

個人の活動

登壇

- What is Soft Memory Limit?@Go 1.19 Release Party
 - 登壇資料
 - ブログ記事
- Building markdown editor using Rust's parser@JS Conf JP 2021
 - 登壇資料
 - ブログ記事
- 。 OSSに貢献した話と社内での取り組みについて@<u>技育祭2021</u>
 - 登壇資料
 - ブログ記事

- o 簡易的な推薦機能を実装する@社内LT
 - 登壇資料
- Git/GitHub oneliner command@社内LT
 - 登壇資料

OSS

Owner - 私自身が作成し運用しているOSSになります

Maintainer - リポジトリに対するWrite権限を持っているOSSになります

Contributor - コントリビュートしたことのあるOSSになります(ここでは私自身が作成したPRがマージされたことのあるOSSに限定しています)

- Owner maintidx
 - maintainability indexを計測するために作成した静的解析ツールです
 - GitHub Starを60以上獲得しています
 - 詳しくはこちら
- Owner chameleon editor
 - HTML、スライド、マインドマップに描画可能なマークダウンエディタです
 - マークダウンパーサーはRustとwasmを使用しています
 - 詳しくは<u>こちら</u>
- Owner blog
 - Next.js使用、TailwindCSS使用、PWA対応、AMP対応、OGP画像の自動生成等を行っています
 - 詳しくは<u>こちら</u>
- Maintainer golangci-lint
 - Goの静的解析ツールをまとめて実行してくれるツールです
 - <u>maintidx</u> を追加する実装をしました
- Contributor go-gimei
 - レースコンディションを回避する実装をしました
- Contributor <u>Node.js</u>
 - fsPromise.writeFileのdata引数としてasync iteratorsをサポートする実装をしました
 - 詳しくはこちら
- o Contributor <u>DroidKaigi conference app 2021</u>
 - ダークモードの対応や軽微な修正を行いました

OSS以外の個人プロジェクト

- o <u>runlive</u>
 - 事業化を目指しており、現在ソースコードはプライベートで開発しています
 - 複数言語が実行可能なプレイグラウンドです
 - 現在はPythonのみサポートしています
 - WebRTCを使用したリアルタイムに変更が反映されるコラボレーション機能、wasmを使用したWeb完結でのソースコード実行機能、ソースコードのシェア機能があります
 - 今後はデプロイ機能やアカウント管理機能も追加する予定です

コミュニティ

- o トレーニー <u>SecHack365</u>
 - <u>SecHack365</u>という、セキュリティイノベーター人材育成のためにNICTが主催しているプログラムに参加しています
 - 2022年度のトレーニーとして参加しています
 - RustとLLVMを使用して、プログラミング言語を作成しています

- 所有権付き参照カウントという、特徴的なメモリ管理機能を実装しています
- o Staff Go Conference
 - <u>2022 Spring</u> から運営のお手伝いをしています

各種リンク

- o <u>GitHub</u>
- o <u>Twitter</u>
- o <u>Blog</u>
- SpeakerDeck